

スクールカウンセラー研究会 日記

第 6 話 脱：“木を見て森を見ず” の巻

6人が参加した今回は、4人の参加者から話題提供がありました。SCの立場からは、対学校組織・外部組織との連携、あるいは対生徒集団、に関する内容であり、SCとしてのモノの見方や動き方を考えたことで、SCが「スクール」カウンセラーであることの所以を改めて感じた時間でした。

また、別の立場の方からの個別支援についての言及から、その人を取り巻く環境や行政のシステムについても話が及びました。

「個」と付き合ったり向き合ったりすることが多い私たちですが、同時に「全体（環境・組織等）」も視野に入れることの重要性を感じた回でした。

記録： さかも（臨床心理士）

日 時：2011年 10月22日(土) 19:00～21:00

場 所：茨木市男女共生センター ローズWAM

参加者：6名(大阪SC、兵庫SC、京都SC)

本日の話題：

1. 高校生に夢を!! SCと共にキャリアデザインを描く!・・・コソ
2. 学校という「組織」の中で、SCが「先生と共に働く」ということ
3. 外部機関との連携 ～校内事情も外部の状況も知っておくべし
4. 福祉の現場から学ぶ、個別支援からの生活支援